

**【港南区】令和3年第3回区づくり推進横浜市会議員会議
議事録**

開催日時	令和3年9月7日（火） 午後3時30分～午後5時
場 所	港南区役所6階 603会議室
出席者	<p>【座長】 田野井一雄議員</p> <p>【議員：4名】 瀬之間康浩議員、みわ智恵美議員、安西英俊議員、梶尾明議員</p> <p>【港南区：30名】 栗原敏也区長、齋藤紀子副区長 飛田千絵福祉保健センター長、 水野圭一郎福祉保健センター担当部長、 井深清港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和2年度個性ある区づくり推進費決算</p> <p>2 令和3年度個性ある区づくり推進費の執行状況</p> <p>3 【案】令和4年度個性ある区づくり推進費予算編成の考え方 (山下総務課長説明)</p>
発言の 要 旨	<p>みわ議員：新型コロナウイルス感染症に関する港南区の取組について、全市保育園の休園状況は8月だけで200園以上とのことだが、区内の休園数はどうか。保育園の休園は家庭の仕事に影響があると思うが、保護者からの相談はあったか。ワクチン接種で区内の65歳以上と未満の人口と接種済みの人数はわかっているのか。</p> <p>大峡学校連携・こども担当課長：区内の保育園の休園数は市全体での公表であるため公表できないことにご理解いただきたい。保護者からのご相談では、「急に休園になり困る」等あり、ご迷惑をおかけしているが、なんとかご理解・ご協力いただいている。</p> <p>山下総務課長：ワクチン接種について、区内65歳以上の人数は約6万2千人、12歳から64歳までの人数は約13万4千人で、区ごとのワクチン接種数は把握できていないと市から聞いている。</p> <p>みわ議員：休園した時の保育料はどのように対応しているのか。</p> <p>大峡学校連携・こども担当課長：日割りで後日返金する。</p> <p>みわ議員：子育て中の方にとっては切実な問題である。</p> <p>安西議員：コロナ禍での保健所体制の強化について、急増期において具体</p>

的にどのような影響が出てくるのか。

佐藤福祉保健課長：コロナの陽性が診断されると発生届が医師から福祉保健センターへ提出される。できるだけ早く陽性者の方の状況を聞き取り、県の療養サポートセンターへ繋ぐ必要があるため、急増期には保健師の業務が増大する。そこで8月は届出件数が非常に多くなり、保健師が担う業務の一部を他職種の応援者が行うことにした。診療が終わる夕方以降に多く出てくる発生届に、時間外、他課からの応援者も含めて一斉に電話をかけ、早く県の療養サポートに繋いで対処した。

安西議員：急増期には発生届の対応が翌日になることもあるか。

佐藤福祉保健課長：急増期には翌日になることもあった。夜間に発生届が出ることもあるので、翌日になる場合、可能な限り早期の連絡を目標としている。現在は、応援体制を拡充し、陽性者数も減少傾向のため、当日中に連絡ができるようになっている。

安西議員：安否確認の頻度は何か決められているのか

佐藤福祉保健課長：県の療養サポートに繋いだ後は、LINE 又は電話で毎日安否確認をしている。特に気になる方には区役所からも連絡をしている。連絡がつかない場合は実際に訪問して安否確認している。

安西議員：東京では、パルスオキシメーターが届かないような事が起きている。県が行うことだが、区がそれを担うような状況になっているか。

佐藤福祉保健課長：パルスオキシメーターは県がバイク便等でご自宅へ届けているが、時間がかかることもある。緊急の場合は区役所保管のものを届けている。

安西議員：感染者の多くは、軽い症状と言われても、生死を意識しながら自宅療養をしているということを忘れてはならない。寄り添って対応して欲しい。

梶尾議員：地域カステップアップ事業の自治会町内会の ICT 活用支援について、活用検討支援の内容を知りたい。また、ヒアリングではどのような相談があったのか。

松田地域振興課長：区の ICT 活用検討支援は、令和2年度の市民局事業「自治会町内会の新しい活動スタイル応援事業」を引き継いでサポー

トする予定だったが、コロナ禍で市民局の事業が延期となりまだ終了していない。現時点で5団体の自治会町内会のヒアリングを行っている。相談内容は主にホームページの作成やデジタル掲示板等の作成のほか、そもそもICTを活用してどういうことができるのかなど、様々な相談を受けている。

梶尾議員：ICTという言葉自体を理解できていない人もいるので、丁寧に説明を行いながら、有効に活用して欲しい。

次に、機器導入に係る支援はどうか

岩元地域力推進担当課長：役員間のリモート会議、地区連合町内会や自治会・町内会のホームページ作成、町内会館へのインターネット環境整備などの機器導入について申請が上がっている。

梶尾議員：引き続き取り組みを進めて欲しい。

次に、安全で快適な生活推進事業の災害時のペット同行避難支援で区民ホールでの展示の反応はどうか。

私市生活衛生課長：区庁舎の入口に近く、人が通りやすい場所に展示している。立ち止まって見る方や、「ペット同行避難には、こんなものが必要なのだ」というような会話をしている方もいた。

梶尾議員：今後もスペースを有効に活用、取り組んで欲しい。

次に、地域で子育て応援事業の保育魅力アップで芹が谷地域ケアプラザの育児支援事業に保育士を派遣し、YouTubeで動画配信したとのことだが視聴回数はどのくらいか。

田中こども家庭支援課担当課長：限定公開なので、事前申し込みのあった7組にURLを送り見てもらった。

梶尾議員：地域のことなども配信していく機会もあると思うので、いかに見ていただけるか今後も検討を進めて欲しい。

安西議員：歩行者サポート事業について、3か年事業ということで当初の予定通り取り組んでいるが、山坂が多い港南区では、手すりなどの設置ニーズはまだ多くあると思うがどうか。

麻生港南土木事務所副所長：歩行者サポート事業は今年度で最後だが、手すりの劣化の補修対応や、設置の必要性は認識しているので、今後も引き続き事業の在り方を検討していきたい。

安西議員：是非前向きな実施をお願いしたい。

次に、公会堂の前のバス停の改善について、今年の2月の市会

議員会議で質問をした。前区長は、「遅れているがぜひとも実施できるよう、局へ働きかけていくとともに、それが叶わないとしても、何らかの形で実現できるよう頑張りたい」と答弁をした。また、区政推進課長は、「上屋の設計に必要な地下埋設物の調査を令和2年度中に行い、その結果を交通局と共有していく」と答弁をした。そこで昨年度実施した地下埋設物の調査の結果はどうだったのか。

高岡区政推進課長：調査の結果、バス停の上屋を建てるために必要な基礎の位置に、複数の埋設管が埋まっている事がわかった。そのため、上屋を建設するに当たっては、既存の埋設管の移設が必要となる。

安西議員：このバス停は、鎌倉街道を南下するすべてのバスが停車する。多くの方がバス待ちをするため歩道が狭くなり、バス待ちの方と歩行者の動線が交錯する。公会堂の建替えに合わせ広場も作り、動線の確保を進めている中で、このバス停周辺の環境改善は重要な課題である。このことは一刻も早く解消すべき重要な課題と考えるが、今後、区としてどう対応していくのか。

高岡区政推進課長：バス停周辺の混雑緩和は必要なことだと考えているが、既存の埋設管の移設には多額の費用がかかる。そこで、現在、交通局以外の関係局とも調整を進めている。引き続きバス停周辺の環境改善に向けて、精一杯努力をしていく。

安西議員：周りは綺麗で利便性が向上しても、メインとなる出入口が改善されないことは、港南区として最大の課題だと思う。一刻も早く対策を講じて欲しい。

現在、上大岡駅のエレベータ新設工事が8月下旬から行われている。鎌倉街道の1車線を規制して工事を行う方法をとっているが、スクールバスの乗降場所以外は封鎖されているため、通勤通学の送迎時に一般車の乗降ができなくなるなど課題が出ている。来年7月末までの長期にわたる工事であり、今後、新たな課題が出てきた場合は交通局としっかりと共有して進めて欲しい。

最後に、芹が谷の国立病院跡地や公務員住宅跡地で大規模な開発が行われている。そこで地域課題として自治会の立ち上げや自治会の在り方、さらに敷地内に防犯灯が無く暗い等の状況が起き

ている。このような課題の把握状況及び進捗はどうか。

松田地域振興課長：自治会の設立と LED 防犯灯の設置については、建築局宅地審査部から、5戸以上の戸建て住宅・共同住宅を対象に、開発事業者に対し協議・指導を実施している。しかしながらいずれも義務ではないため、区役所としても事業者に対して協力をお願いをしている。事業者によっては対応が難しい場合もあるが港南区だけの問題ではないので、他区の状況も確認しながら、関係所管局と審査の基準化に向けて引き続き協議を進めたい。

安西議員：最初に地域課題の声が届く先が、区役所や地域ケアプラザなので、声を集約し、少しでも法案に繋がる形また地域の安全に繋がる形にしていきたい。

みわ議員：安全安心まちづくり推進事業の中で、地域子どもの安全対策協議会を書面開催にて実施とあるが、何カ所の要望が出ていて、何カ所実施をする予定になっているか。

松田地域振興課長：要望箇所数については、令和2年度は、地域振興課、土木事務所、警察署合わせ 126 件あった。そのうち対応済が 83 件、引き続き検討が 5 件、対応不可が 38 件となっている。

ただし令和元年度は 238 件要望があった。書面開催のみだと、学校によっては実施できない部分があると考え、スクールゾーンを中心とした路面標示については、要望がなくても地域振興課職員が直接現地へ出向いて点検を行った。結果、要望がない 27 件についても補修等を行うことができた。

みわ議員：要望がなかった 27 件というのは、地域子どもの安全対策協議会では出なかったが、前からでていた要望や日常的に聞いていた要望だから行ったのか。

松田地域振興課長：地域振興課では、日頃からスクールゾーンの表示などを地図に落とし込み、すべての場所を把握しているため、今回、確認を行い実施した。

みわ議員：38 件については、対応不可とあるが、どういった理由で対応不可になってしまったか。

松田地域振興課長：民地の問題など様々理由があるが、対応不可であっても代替で何かできないかと関係者と協議し、例えば見守り活動でフォローしていくなど、引き続き検討はしている。

みわ議員：地震によってブロック塀が倒れる可能性がある危険な通学路について、横浜市全域で2,100か所ある。地域子どもの安全対策協議会の中でブロック塀についての要望を出すのはなかなか難しいところではあると思うが、危険を避けるために通学路の変更等は検討しているのか。

松田地域振興課長：ブロック塀が民地であれば対応が困難な場合もある。その場合でも、その方の自宅に区役所の職員と学校の職員で伺い、対応をお願いしている。

みわ議員：コロナ禍において防災訓練ができないが、災害はコロナ禍でも起きる。災害の訓練をどうしていくのか。

山下総務課長：感染対策チェックシートや非接触体温計やマスク、消毒液、受付や立入禁止表示などをひとまとめにしたスターターキットを準備したり、体調不良者専用の部屋を用意したりすることにして、訓練できる準備をしている。これらは、地域防災拠点運営委員会連絡協議会にて紹介し、コロナ禍を踏まえた地域防災拠点のマニュアルを作成するなど、より多くの方に参加をしていただけるよう工夫をしている。

みわ議員：地域の医師に地域防災拠点で支援していただく場合、手袋や着るものについての物品や備品は、自己負担している場合もあると聞いている。どういったものを準備し、災害医療体制を確保しているのか。

佐藤福祉保健課長：災害医療連絡会議を活用し、意見を共有しつつ必要な物品等について調達していきたい。

みわ議員：そういった物品や備品の予算はどこからでるのか。

佐藤福祉保健課長：物品や備品の種類によっても配付する局が変わるため、所管する局による。

瀬之間議員：災害医療の合同訓練は、どのようなものか。

佐藤福祉保健課長：区内の拠点病院を実施会場として行うものと、拠点同士を電話で結んで行う情報受伝達訓練のこと。

瀬之間議員：世界アルツハイマーデーに合わせたバスの車内広告とあるが18区の間取組か。

大島高齢・障害支援課長：港南区独自の取組になっている。港南区は非常にバスの路線が多いため、広告の効果が高いと想定されることか

	<p>ら、自主企画事業費で取り組んでいる。</p> <p>瀬之間議員：430 台とあるが、市営、神奈川中央交通、江ノ電、京急の4社でいいか。</p> <p>大島高齢・障害支援課長：その通りで、港南区を通過する全てのバス路線で行っている。</p> <p>瀬之間議員：バスの車外広告や地下鉄の車内広告などは考えているか。</p> <p>大島高齢・障害支援課長：車外広告は費用的に厳しい。また、モデル的に取り組んでいる部分もあるため、まずはバス430台で取り組みたい。</p> <p>田野井議員：安全安心まちづくり推進事業の地域子どもの安全対策協議会について、母校の協議会に出席しているが南区からも担当が来て良くやってくれている。他に区境の小中学校はあるのか。</p> <p>松田地域振興課長：洋光台第一小学校、洋光台第三小学校、藤の木小学校が区外だが、両区の地域振興課と土木事務所が合同で出席している。</p> <p>田野井議員：防災訓練は昼間が中心だが、港南中学では夜間の照明を用いて実際にやってみた。夜の防災訓練を実施する必要があると思うがどうか。</p> <p>山下総務課長：夜間用の照明器具もあるので実施は可能である。夜間に災害が発生することもあるのでそのような工夫も必要と考える。</p> <p>田野井議員：命にかかわる問題なので、机上作戦のHUG訓練（避難所運営ゲーム）など色々なことを事前にしておくべきである。ペット同行避難についても、ペットを飼っている方が増えており、市会では動物との共生を考える議員連盟の講演会で港南区獣医師会会長の太田先生にわかりやすく説明していただいた。地震と火災では避難の仕方も違う。独り住まいの方や車いすがないと動けない方等への対応もしっかりとそれぞれの地域防災拠点で知っておくべきで、検討して欲しい。</p> <p>先程、安西議員から、芹が谷方面の防犯灯の話があったが、暗く感じる場所は改善して欲しい。また、大災害時のトイレの設置は重要であり、日限山の高台などにも設置すべきと考える。地域の課題もあろうかと思うが今後進展するよう要望する。</p>
備 考	